

平成27年（2015年）9月16日外部評価実施

中央地域包括支援センター（中部圏域）

「評価結果の概要」

センターが把握している圏域の特徴

総人口:55,657
高齢者人口:12,695
高齢者率:22.81%

中部圏域は市の中部に位置し、市役所など市の施設が多くあり、交通至便な地域です。5つの小学校区があり、校区により郊外型マンション群や、旧村落地域、閑静な住宅街、商業地域など様々な特徴があります。

センターの取組方針や特徴

今年度は校区ごとに地域の社会資源情報などを盛り込んだ「介護予防マップ」の見直しを図り、最新の情報を入れた「介護予防マップ」に改定中です。

活動支援「克明ささえあいねっと」は、ささえあい大作戦と称され民生委員、校区福祉委員、コミュニティ・ソーシャルワーカー、センター担当職員で日程を決めグループに分かれ「心配な」集合住宅を1軒づつ訪問する活動をしています。

孤立死を防止するために近隣スーパーや薬局、郵便局、銀行などを含めた重層的なネットワークの構築に取り組んでいます。また、在宅医の連携を重点的に図り、より多くの機関、多職種での連携を強化するよう取り組んでいます。

総評

【特に評価の高い点】

●事業計画について

事業計画は職員全員が参画して作成し、月に1回職員会議で計画の進捗状況の振り返りを行っています。

計画に添った事業展開が行われています。

●医療と介護の連携について

地域ケア会議「高齢部会」に医師も参加し、介護事業者や地域住民との意見交換も行うなどの取り組みから、医療と介護の連携に繋がっています。

【特に改善を求められる点】

●個人情報等の適正な管理について

職場環境として、他の事業とのエリア分けが明確でなく、センターの独立性や個人情報保護の観点からも、他の事業との明確なエリア分けやパーテーションなどを用いた間仕切りへの工夫など、更なる改善が求められます。

●介護予防事業について

「介護予防教室終了後のフォロー面接」「不参加理由の整理後の具体的対策立案」「基本チェックリスト未返信者訪問で得た情報を活用した地域実情の把握」などに努めることが求められます。

●記録の整理について

活動した内容に客観性を持たせるため、さらなる記録の整理が求められます。